※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（通）世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版 現代の世界史　（山川出版社）						
副教材等	授業プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象や人物に興味を持つ。
・歴史的事象に「なぜそのようになったのか」等の疑問を抱き、自らの力で思考する。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現代の世界の問題を考える。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な 考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を理解し、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら自らの知識として身につけることができる。 歴史に関する諸資料を文献やインターネット等を利用して収集し、まとめることができる。	現代世界の諸課題を世界史的観点から考察・分析し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、設定された問いを解決するため、多角的・多面的に考察することができる。 考察したものを発表して説明したり、文章化してまとめたり、他者と議論することができる。 自らの考えをレポートなどにまとめて表明できる。	近現代史を中心とする世界の歴史や文化を等しく愛し、関心を持ち、自ら積極的に学び、考え、課題を発見しようとしている。 途中であきらめることなく課題に何度も取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	諸地域世界の特質・アジア諸国の繁栄	東アジア世界 南アジア・東南アジア世界 西アジア世界 ヨーロッパ世界 陸と海の交流 モンゴル帝国 東アジア・東南アジア諸地域の変動と再編 イスラム世界の再編成	a:東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパ諸国の歴史や文化、宗教などの特色を理解している。 b:東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパ諸国の歴史や文化、宗教などについて多面的に考察し、表現している。 c: 東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパ諸国の歴史や文化、宗教などについて意欲的に学習し、粘り強く学習しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	世界の一体化とヨーロッパ・近代の欧米社会	大航海時代 16世紀のヨーロッパ 17・18世紀の西ヨーロッパ 16から18世紀の東ヨーロッパ 西欧を中心とする世界の一体化 イギリス産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 反動と改革 ナショナリズムの時代 南北アメリカの道	a:大航海時代から南北アメリカの道までの、各地域での出来事に対して、経緯・展開・役割・意味を理解し、資料を読み取りまとめることができる。 b: 大航海時代から南北アメリカの道までの、各地域での出来事に対して、経緯・展開・役割・意味を多面的に考察し、表現することができる。 c: 大航海時代から南北アメリカの道までの各地域での出来事に対して、意欲的に学習し粘り強く学習しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	ヨーロッパの進出とアジア	バルカン・西アジア社会の動き インド・東南アジアの植民地化 東アジアの動揺 東アジア国際秩序の変容	a:１９世紀を軸とした西アジア世界の変化と、ヨーロッパの動き、東アジアの状況などを多面的に理解し、関係する資料を活用し読み取っている。 b: １９世紀を軸とした西アジア世界の変化と、ヨーロッパの動き、東アジアの状況などを多面的に考察し、表現している。 c: １９世紀を軸とした西アジア世界の変化と、ヨーロッパの動き、東アジアの状況などを意欲的に学習し、粘り強く学習しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※令和４年度以降入学生用

後期	帝国主義とアジアの民族運動・二つの大戦	欧米による世界の植民地化 民族運動と列強の対立 第一次世界対戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制と欧米諸国 民族主義の新展開 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦	a:帝国主義時代の欧米諸国の動向やアジアの抵抗、第一次世界大戦から第二次世界対戦への推移を理解し、写真やデータなどの資料を読み取り活用している。 b: 帝国主義時代の欧米諸国の動向やアジアの抵抗、第一次世界大戦から第二次世界対戦への推移を多面的に考察し、表現している。 c: 帝国主義時代の欧米諸国の動向やアジアの抵抗、第一次世界大戦から第二次世界対戦への推移を意欲的に学習し粘り強く取り組もうとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	冷戦の時代	冷戦の形成と第三世界の登場 核戦争の危機 多極化と緊張緩和 冷戦の変質 冷戦の終焉 冷戦下の日本	a:冷戦構造の形成と変容について理解し、資料を収集し適切に活用している。 b: 冷戦構造の形成と変容について多面的に考察し、表現している。 c: 冷戦構造の形成と変容について意欲的に学習し、粘り強く取り組もうとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	グローバル化する世界	グローバル化の進展 変貌する世界の諸地域 日本の現状と未来への模索	a:グローバル化の進展とその問題点や現代日本の課題を理解し、資料を収集している。 b: グローバル化の進展とその問題点や現代日本の課題を多面的に考察し、表現している。 c: グローバル化の進展とその問題点や現代日本の課題について意欲的に学習し、粘り強く取り組もうとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りシート ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度